

溶出試験

テルチア配合錠 BP「NIG」

溶出試験条件

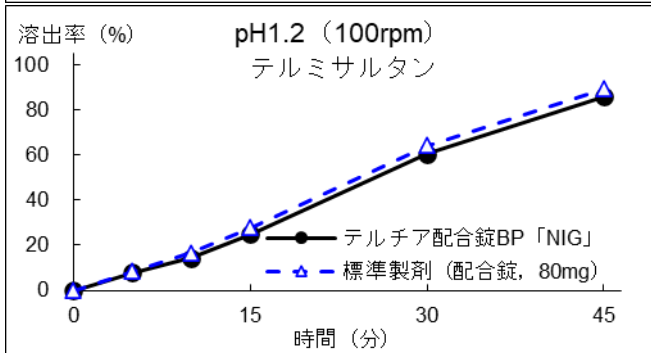
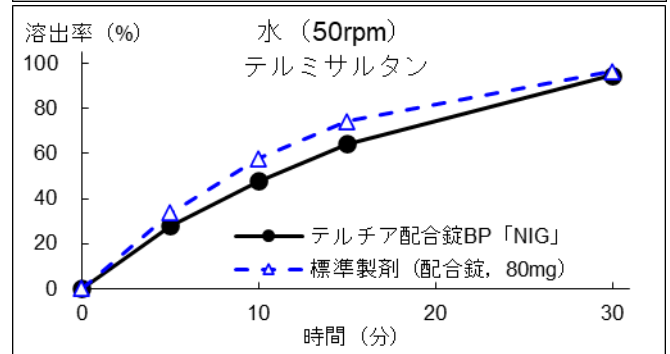
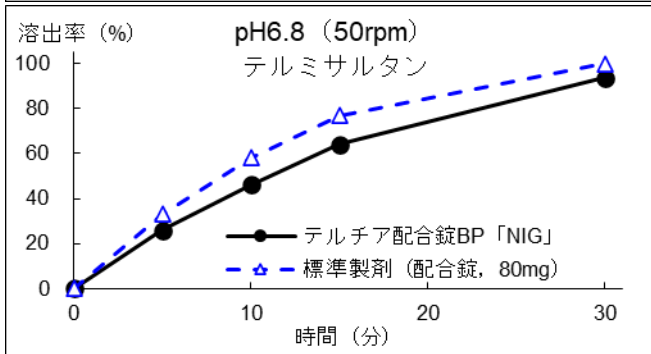
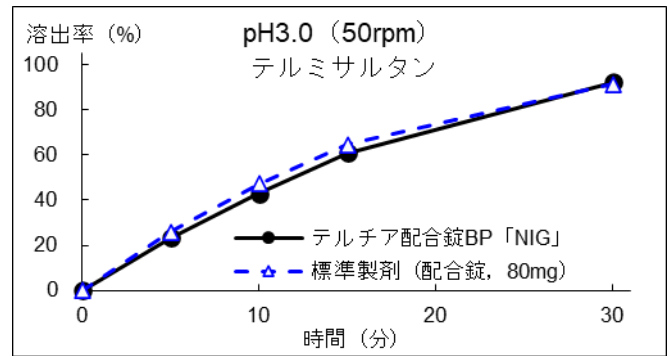
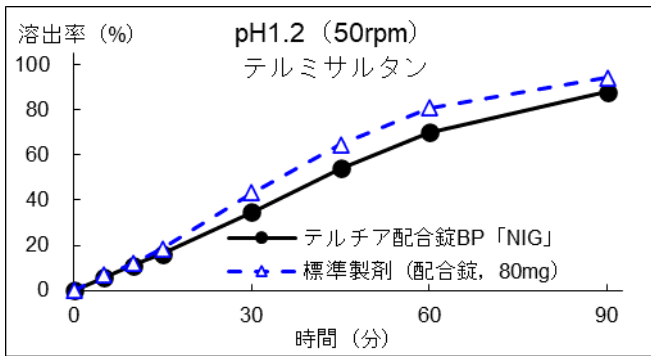
装置	日本薬局方 溶出試験法 パドル法	液量	900mL	温度	37±0.5℃
----	------------------	----	-------	----	---------

<テルミサルタン>

溶出試験結果

回転数	試験液	判定
50rpm	pH1.2	標準製剤の平均溶出率が 40%及び 85%付近の 2 時点において、本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあった。
	pH3.0	標準製剤の平均溶出率が 60%及び 85%付近の 2 時点において、本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあった。
	pH6.8	15 分における本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあった。
	水	15 分における本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあった。
100rpm	pH1.2	標準製剤の平均溶出率が 40%及び 85%付近の 2 時点において、本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあった。

テルチア配合錠 BP「NIG」の溶出挙動を標準製剤（配合錠，80mg）と比較した結果，上記全ての条件において「生物学的同等性試験ガイドライン」の判定基準に適合した。



<ヒドロクロロチアジド>

溶出試験結果

回転数	試験液	判定
50rpm	pH1.2	f2 関数の値は 42 以上であった。
	pH4.0	f2 関数の値は 42 未満であった。
	pH6.8	f2 関数の値は 42 未満であった。
	水	標準製剤の平均溶出率が 60%及び 85%付近の 2 時点において、本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあった。
100rpm	pH4.0	15 分における本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあった。

テルチア配合錠 BP「NIG」の溶出挙動を標準製剤（配合錠，12.5mg）と比較した結果，溶出挙動を標準製剤と比較した結果，pH1.2（50rpm），水（50rpm），pH4.0（100rpm）の試験液において「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」の判定基準に適合した。

